

会社名 **株式会社 ノジマ**

上場証券取引所 JQ

コード番号 7419

本社所在都道府県 神奈川県

(URL <http://www.nojima.co.jp>)

代表者 役職名 代表執行役

氏名 野島 廣司

問い合わせ先 責任者役職名 取締役兼執行役 財務経理本部長

氏名 庄司 友彦

TEL (050) 3116-1212 (代表)

1. 四半期財務情報の作成に関する事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 ・連結(新規)1社 株式会社オー・ティ・エス  
 本資料の数値は、監査法人による監査を受けておりません。  
 米国会計基準採用の有無 : 無

2. 17年12月第3四半期の連結業績(平成17年4月1日~平成17年12月31日)

(1) 連結経営成績

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月第3四半期	89,355	( 19.3)	1,656	( 0.1)	2,262	( 6.7)
16年12月第3四半期	74,888	( 1.0)	1,654	( 116.1)	2,119	( 69.8)
(参考)17年3月期	99,864		2,148		2,526	

	第3四半期純利益	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	株主資本当期純利益率	総資本経常利益率	売上高経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
17年12月第3四半期	1,118 ( 7.8)	79 68	76 38	13.4	5.7	2.5
16年12月第3四半期	1,038 ( 97.7)	73 73	- -	14.5	5.6	2.8
(参考)17年3月期	1,019	72 45	- -	14.3	7.5	2.5

- (注) 1. 持分法投資損益 17年12月第3四半期 - 百万円 16年12月第3四半期 9百万円  
 2. 期中平均株式数(連結) 17年12月第3四半期 14,042,242株 16年12月第3四半期 14,080,900株  
 平成16年8月20日付で1株を2株にする株式分割を実施いたしました。期中株式数は、平成16年3月期期首に分割が行われたものとして計算しております。  
 平成17年10月31日に転換社債型新株予約権付社債を発行し、12月31日時点で647,164株が転換されております。  
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

【経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等】

当第3四半期におけるわが国経済は好調な企業業績、雇用情勢の改善、株価上昇等を背景に個人消費にも緩やかな回復傾向がみられました。

当家電販売業界では、引き続き競争は激化し、勝ち組、負け組みがはっきりしつつあるものの、全体としては薄型テレビが引き続き好調に推移し、寒波の影響もあり暖房関連の季節商品も好調に推移いたしました。

このような一歩戦略を間違えれば負け組みになりかねない状況の中当社では、年末年始にはお客様に喜んで頂ける店頭キャンペーンを行い好評を得ました。また従来にも増してIT・デジタル・通信商品の取り扱いにおいて地域No.1を目指し、豊富な品揃えとお買い得No.1の価格政策に加え、関連するサービス等の提供による多面的な差別化と独創的で革新的かつスピードのある行動を通して、「お客様の立場に立って顧客満足を向上する」ことを、基本方針に営業活動を行ってまいりました。

店舗展開では、不採算店や新店と商圏が重なる3店舗を閉鎖し、その一方で、新たに3店舗開店いたしました。(でんわ専門店を除く。)

以上の結果、売上高は893億55百万円、営業利益は16億56百万円、経常利益は22億62百万円となりました。

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年12月第3四半期	44,611	9,129	20.5	623	18
16年12月第3四半期	36,889	7,608	20.6	540	38
(参考) 17年3月期	34,778	7,519	21.7	537	22

(注) 1. 第3四半期発行済株式数 17年12月第3四半期 14,649,057株 16年12月第3四半期 14,080,900株  
 2. 第3四半期自己株式数 17年12月第3四半期 108,500株 16年12月第1四半期 31,300株

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期における総資産につきましては、主に受取手形及び売掛金(前年同期比3,485百万円増)、たな卸資産(同2,456百万円増)の増加により、44,611百万円(同7,722百万円増)となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金(同3,677百万円増)の増加により、35,152百万円(同6,171百万円増)となりました。

資本につきましては、転換社債の発行・転換がございましたので資本金および資本準備金が各々312百万円増加し、利益剰余金につきましては当期純利益により956百万円増加いたしましたので、9,129百万円(同1,520百万円増)となりました。

3. 18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	112,000	3,200	1,460

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 103円97銭

【業績予想に関する定性的情報等】

当社グループの第3四半期迄における業績は、概ね計画通り推移しており平成17年11月7日発表の業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。

添付資料

四半期連結貸借対照表

四半期連結損益計算書

四半期連結剰余金計算書